



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2014.4.10 第1468号

拡大キャッチコピー 「新しい仲間づくりを皆の力で」 「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」

第9回青森支部 組織拡大対策会

新規採用者の取り組みも確認

日常的係わりを大切に拡大を

青森支部は3月23日13時から青森県労働福祉会館で21人の参加者の中で「第9回組織拡大対策会」を開催した。会議では、佐々木支部執行委員長から現在の社員に対しての組織拡大の取り組みと、新規採用者の国労加入の取り組みについて提起が行われた。続いて重要課題である「組織拡大」の取り組みについて7人の組合員から職場・分会の置かれている現状や実態が報告された。最後に「組織拡大は、喫緊の課題である、今会議で提起された取り組みを組合員、一人ひとりが全力で闘い抜くことを確認し終了した。」

7人の分会代表が現状を報告

組織拡大対策会は、田崎支部書記長の開会挨拶後、阿部支部執行委員長から「3月18日付けで盛岡支部で53歳主務職の方が国労復帰を決意し仲間よう今会議で一人ひとりが自



= 分会の取り組みを報告する奈良岡勝さん(青森施設) =

信と確信を持って居る場とした」と挨拶し座長に就任し進められた。続いて、地方本部の沢田書記長から「盛岡支部で3月18日付けの国労復帰を勝ち取ることができた。関係分会に心から感謝申し上げたい。他労働組からは、一層締め付けが強くなるだろうが、国労運動の正しさを持つことが大切である。また、組織拡大の課題は国労運動の継承である。安全・安定輸送の確立は、技術の継承と人材育成である。そのためにも、労働組合はJR会社をチェックしなければならぬ。労働条件の改善をしなければ安全・安定輸送を確立することができない。新規採用者の加入対策について、アンテナを高くし、どれだけ情報を集めることができるかが重要だ」と挨拶を受けた。

次に佐々木副委員長が協議事項を提起し、分会からの報告に入った。分会からは「国労に復帰したい方にアプローチしている。職場に不満がある若年で退職したい等悩んでいる。アドバイスをしながら係わりを持ちながら、間を開けることなく続けていきたい」と「組織拡大するには、分会役員だけでは限界がある。職場集会を開催し、組合員一人ひとりが取り組む意識が重要で小さな情報でも持ち寄る体制を作ろうとなっている」

当面の主な日程

- 4月14日(盛岡) 第7回地方本部執行委員会
4月18日(東京) 第84回メーデー
各地本・地区本部業務部長・東日本職協議長合同会議
4月20日(盛岡) 地方運転協職場実態交流会
4月26日(盛岡) 盛岡支部組織対策会議
5月1日(各地区) 第84回メーデー
5月15・16日(東京) 第14回東日本本部軟式野球大会

ら国労加入の対象者に声を掛けていくがよい返事がもらえない状況だ。マイプロジェクトの班編成で所属組合別なもので現場長に差別・選別ではないかと申し入れた」など取り組みが進んでいる職場・分会がある一方で、「感情のしこり等、後ろ向きな意見もあるが国労運動の継承のためにもみんなで取り組もうと職場で話している」など報告された。最後に田崎支部書記長が「国労復帰・加入者を拡大するためには、不平・不満・悩みを受け止め日常的な係わりを持って取り組むことが大切である。新規採用者の加入については、どんな小さな情報でも拾い集めることが重要でアンテナを高くし情報収集に努めることが求められている」とまとめ、新規採用者の情報収集と現場配属時に職場主権の歓迎会を申し入れる

一歩ずつ進む新たな街づくり 故熊谷秀三御宅訪ね線香

「地方本部・被災地視察」

地方本部は、震災復興4年目のスタートとなる3月12日、被災沿岸地区の視察のため佐々木委員長、及川教宣部長、西館書記が気仙沼・陸前高田・大船渡地区を訪れました。一行は最初に、大津波に襲われ命を奪われた故熊谷秀三さんの実家を訪れ、ご冥福をお祈り申し上げてきました。災害時は、お客様・社員の命を守る事が最優先であり、不幸な出来事を繰り返さないことを誓いました。その

平和環境岩手県センター第25回臨時総会

「戦争をさせない署名」取り組みを確認

「新議長に砂金良昭氏(岩教祖)を選出」

平和環境岩手県センターは昨年12月7日に第24回定期総会を開催し、向こう一年間の活動方針を確立したが、安倍政権の政治反動が一層強まる中で今日の取り組みを総括し、今後の運動推進体制確立に向け、3月29日に盛岡市の岩手教育会館で第25回臨時総会を開催した。総会には小野寺健(高教組)を議長に、高橋隆吉(全農林)を副議長に選出して進められ、当面する運動方針と補正予算の提起を受け、各地区からこの間の自治体選挙の取り組みを中心に活動報告が行われた。また、「平成の大合併」による地方交付税減額の問題や、戦争をさせない全

北村進氏の議席確保に協力を

宮古市議会議員選挙(定数28) 4月13日告示、同月20日投票



国労盛岡3月号でも掲載・連絡のとおり、宮古市議会議員選挙が4月13日告示・同月20日投票で施行される。同選挙には、岩手県教職員組合出身で国労も推薦している北村進氏(社民党公認・53歳)が2期連続の当選を目指し立候補を予定している。同市に在任する組合員を中心とする取り組みとなるが当選に向けて友人・知人の紹介などを展開していく。



